

# ながよ町議会だより

No.166

Nagayo Town Assembly Newsletter

平成30年7月18日発行 長崎県長与町議会

## 7月定例会

◎補正予算をチェック	2
◎いじめ対策を強化	4
◎11人が問う 一般質問	6~17
◎議員と語ろう会を開催しました	18



青空のもと 出発!(ヘルシーウォーキング)

# 七葉迫ため池の防災対策 教職員用パソコン購入など 一般会計に6472万4千円を追加 30年度一般会計補正予算（第1号）

30年第2回定例議会を、6月5日から14日までの会期で開きました。30年度一般会計補正予算など町長提案の10議案を審議し可決。議会側が提案した2つの議案も可決しました。

## 主な質疑

**問** 乗合タクシー試験運行事業は発注されているのか。また、委託期間はどのようになっているのか。

**答** 町内のタクシー会社3社を選定し、そのうち1社と委託契約をした。試験運行の委託期間は6カ月である。

**問** 農林水産業費で、防災減災事業の設計業務委託料（800万円）の対象になっている「七葉迫ため池」は、江戸時代に造られたものであり、文化的価値があると思う。歴史的遺産であることを加味した計画か。

**答** 昭和57年の長崎大水害時に災害復旧工事で水に接する全面の改修工事を行った時、水を抜く手掘りの「栓」の部分を保存し、洗切小学校に展示している。今後も歴史的なものが新たにあれば、業者と協議したい。



七葉迫ため池 2年8カ月の歳月を費やし慶応2年（1866）完成（平木場郷）

**問** 中尾城公園内の私有地を購入する予定（公園用地購入費934万7千円）と説明があったが、現在まで購入に至らなかった理由は何か。

**答** 当時は無償で提供されていたが、土地を相続した方から返却の申し出があった。元の畑に戻し返却するか、町が購入し公園として継続するかを協議をした結果、購入することが安価でベストだと判断した。

**問** 小中学校の教職員用パソコンを、経費削減のためにリースから買い取りに変更するとの説明であった（調達方法変更に伴う経費など、3117万5千円）。5年分のリース料と、買い取り時の費用（初期費用、

**問** ランニングコスト、保守費用などを含め）では、どの程度縮減効果が出るのか。

**答** 33年までリースした場合と、順次買い取りの場合との縮減額は1880万円になる。

**問** 学校のパソコン買い取りは今回だけでも1880万円の削減となるならば、庁舎全体の分を、リースから買い取りへ変更すると大きな削減効果となる。管理職会議などで情報を共有化する議論はしてきたのか。

**答** 庁舎内のパソコンもリース契約の更新時、買い取りに移行しており、教育委員会としても今回から適用するようにした。

全会一致  
可決

## 議員政治倫理条例を全部改正

議会は、議員自らを律するため長与町議会議員政治倫理条例を制定しています。この条例は議会運営委員会で見直しを進めていましたが、全面改正とする案を提出しました。主な内容は以下のとおりです。

### 議員の責務

議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれたときは、説明責任を果たすことなどを規定しました。

### 町民の役割

町民も主権者として自覚を持ち、議員に対し政治倫理基準に反する働きかけを行ってはならないなどの規定を新設しました。

### 政治倫理基準

議員は、その職務に関して不正の疑惑を持たれる行為をしないこと、特定の個人また団体の利益を求めて、公共の利益を損なうような行為をしないことなどを規定しました。

### 請負等に関する遵守事項

議会は町の政策、予算を審査し決定する議事機関であり、構成員である議員は、不正の疑惑を生じさせないためにも、町との契約を辞退するように努めると規定しました。

### 審査請求

議員に政治倫理基準等に違反する疑いがあると認められるときは、町民は50人以上、議員は2人以上の署名で審査請求できることなどを規定しました。

### 対象議員及び議会の措置

委員会審査の結果、違反行為が事実と認定されたときは、議員は自らの責任を明らかにすることとし、議会は、議会の名誉と品位を守り町民の信頼回復のため、議会役職の辞職勧告、議員の辞職勧告などを行うとともに、この結果は公表することを規定しました。

全会一致  
可決

## 核兵器廃絶の国連決議採択後の核兵器のない世界への取組強化を求める意見書（抜粋）

左記の意見書を可決し、衆参両院議長・内閣総理大臣・外務大臣へ送付しました

長与町では、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、紛争・戦争のない世界の実現を強く望み、平成6年9月19日、核兵器の廃絶を願って「平和で安全な町」を宣言し、平和の尊さと核兵器の悲惨さを後世に伝え続けている。

我が国は、非人道的な核兵器使用の悲惨さを全世界に発信できる唯一の国であり、核軍縮の実質的な前進に向けて、核保有国と非保有国、立場の違う国々との橋渡し役ができる国でもある。

よって、国におかれては、国民の生命財産を守る責任を有する政府として、安全保障における現況の脅威に対し適切に対処するとともに、国連での核兵器廃絶決議の採択を受けて、核兵器禁止条約の署名・批准等、様々な問題解決に向けて、具体的取組を行うよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。  
平成30年6月14日  
長崎県長与町議会

# いじめ対策を強化

## 長与町いじめ問題対策連絡協議会等条例

いじめ防止対策推進法の規定に基づき児童等の尊厳を保持するため、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために必要な組織を設置します。

○長与町いじめ問題対策連絡協議会

(委員10人以内)

○長与町いじめ等学校問題サポートチーム

(委員5人以内)

○長与町いじめ問題調査委員会

(委員5人以内)

**問** 26年に町の基本方針を策定してから時間が経っているが、今回の提案になった理由はなにか。

**答** 策定にあたり熟議した。さまざまないじめの重大事案が全国で発生したが、その第三者会議において構成員をどうするか、一番良い形のものを作るために時間がかかった。

## 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

「長与町いじめ問題対策連絡協議会等条例」の制定に伴い、「長与町いじめ問題対策連絡協議会」、「長与町いじめ等学校問題サポートチーム」および「長与町いじめ問題調査委員会」の報酬額を新たに加えるものです。

○長与町いじめ問題対策連絡協議会

会 長 日額7400円

委員 日額7000円

○長与町いじめ等学校問題サポートチーム

委員長 日額7400円

委員 日額7000円

○長与町いじめ問題調査委員会

委員長 日額7400円

委員 日額7000円

**問** 構成メンバーの中で警察署の課長、校長の会長などの公職者については、報酬の支給対象になるのか。

**答** 公職者については支給されない。

**問** サポートチームメンバーで産業医、医師についても報酬日額は同じなのか。

**答** 委員の日額は同じである。

## 30年第2回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	浦川 圭一	中村 美穂	安部 都	饗庭 敦子	安藤 克彦	金子 恵	分部 和弘	西岡 克之	岩永 政則	喜々津英世	山口憲一郎	堤 理志	河野 龍二	吉岡 清彦	竹中 悟	内村 博法	
執行機関	長与町条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町都市計画条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町いじめ問題対策連絡協議会等条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議会	長与町議会議員政治倫理条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	核兵器廃絶の国連決議採択後の核兵器のない世界への取組強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席

※ 議長は採決に加わらないため「※」で表示

■ 棄権とは、議員自らの意思により表決に参加しないこと。

◆ 除斥とは、議員は直接の利害関係のある事件について、その議事に参与することができないこと。(地方自治法第117条)

# その他の議案

## 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の改正

代替保育の提供および確保について新たに定め、食事の提供に関し基準の変更を行いました。

問 今回の改正で連携条件が緩和される。どの様になるのか。

答 家庭的保育事業等を運営するには、これまで保育園や幼稚園等との連携が条件であったが、同様の小規模保育事業との連携でも可能となった。

問 町内に対象事業者は存在するの。

答 認可しているところはない。

問 対象事業所が無くても、条例整備が必要なのか。

答 児童福祉法で条例制定が規定をされている。

## 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の改正

放課後児童支援員の資格要件の明確化と拡大を行いました。

問 教員免許部分の改正内容は何か。

答 教員免許は更新があるが、放課後児童支援員の資格要件には必要ではない。

問 「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者で、町長が適当と認めた者」とはどういうことか。

答 これまでは高卒が要件であったが、中卒でも5年以上の経験があれば支援員の資格を有することが規定された。

問 今後、どのような運用となるのか。

答 本町では、町立の児童クラブが無いいため、資格を有していれば、各事業者での採用となる。

## 指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する条例の改正

標記事業の申請者の資格について対象拡大を行いました。また、町独自の条文として、24年に制定した「長与町暴力団排除条例」を遵守する但し書きを新たに加えました。

問 今回の改正による町内の申請見込みはあるのか。

答 現在のところ対象となる事業者はない。

問 この条例以外にも暴力団排除条例の条文は入れているのか。

答 介護保険関係の許認可の関係条例では、この条例のみが入っていないので今回入られた。

問 通常、法人でない診療所というのが想定できるのか。

答 該当する診療所は町内では想定されない。

## 水道事業の設置等に関する条例の改正

30年3月議会で可決された、「町長の専決処分事項の指定に関する条例」の制定に伴い、企業会計である水道事業においても専決処分ができる金額を揃え整合性を図り、「10万円以上」を「100万円を超える」に改めました。

問 100万円とした根拠は何か。

答 町長部局における専決処分との整合性を図るため、金額を揃えた。

問 水道局で過去10万円以上の損害賠償が発生しているのか。

答 下水道課で28年度に1件発生している。

# 11人が問う

一般質問	質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。
一般質問の記事	質問した議員が執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。
会議録の閲覧	会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。
会議の中継・配信	本会議の様態を、ユーストリームでライブ配信し、ユーチューブで録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

7	吉岡清彦 議員	① 教育行政について ② 行政財源の確保について
8	山口憲一郎 議員	① 町民参加のまちづくりについて
9	金子恵 議員	① 高田南土地区画整理事業の今後について ② 地域活動と協働の在り方について
10	分部和弘 議員	① 町の社会保障施策の充実と強化について ② 高田南土地区画整理事業について
11	堤理志 議員	① 生活安全の問題について ② 生活環境の課題について
12	饗庭敦子 議員	① 情報弱者、情報難民について ② 窓口サービスについて
13	浦川圭一 議員	① 本町における適切な都市計画の見直しについて ② 過去の一般質問の答弁にかかる現状の取組について ③ 第3次男女共同参画計画で示している計画について
14	西岡克之 議員	① 本町の公園の維持、管理について ② 施設の利用料、使用料について
15	竹中悟 議員	① 「高田南土地区画整理事業の早期完成を」について ② 地元業者育成及び地産地消について
16	河野龍二 議員	① 公共施設町民有料化について ② 町内交通状況の対策について
17	安部都 議員	① 防災対策の情報発信と避難体制の取り組みについて ② 男女共同参画社会に関わる人権尊重について



# 教育行政で誇れるものは何か



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 特別支援教育の充実を図っている



中学生・会話の実践で外国語力アップ！

■ **議員** 本町における教育行政の誇れるものは何か。

■ **教育長** 28年度から32年度の5カ年の「長与町教育振興基本計画」の下に教育行政を進めている。学校教育関連では、授業改善やながよ検定などにより、基礎学力の充実を図っている。全国学力学習状況調査では、全国平均を上回る結果が出ている。特別支援教育の充実を図って一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。外国語活動・英語教育の充実に向けて、外国語指導助手を29年9月より1人から3人体制に移行した。

また、中学1年生には、英語による長与町国際コミュニケーション活動（通称NIC E）を実施し、英語を使う機会をつくった。生涯学習関係においても「家庭教育10カ条」を作成し家庭の教育力の向上に努めている。

### 子どもの健康対策

■ **議員** これからの子どもたちも「健康・長寿」という課題が発生してくるが、対策はどうか。

■ **教育長** 生活習慣病を予測する一つの指標として「肥満」を取り上げてみると、現時点では重点課題とはとらえていないが、改善すべきであると認識している。

■ **議員** 小・中学校におけるクラブ活動の在り方が問われているが、どのようになっているか。

■ **教育長** 30年3月にスポーツ庁より、運動部活動の在り方に関するガイドラインが公表された。それに基づき学期中は週2日以上以上の休養日

を設けるよう、準備を進めていく。

### 問 行政財源の取組は

■ **答** 国県への働きかけと自主財源が主

■ **議員** 行政財源の確保に向けてどう取り組んでいるのか。

■ **町長** 町の事業推進のため、国や県との連携を深め、より積極的に情報の入手に努めている。また、事業の見直しを図り優先順位に応じた事業実施を徹底するなど、財源確保に努めるよう取り組んでいる。

### 自主財源の確保

■ **議員** 自主財源の確保にどのように取り組んでいるのか。

■ **町長** 生産年齢人口の減少などにより自主財源の確保は大きな課題である。対策として①団地の早期完成で、安定的な税収の確保②公共施設使用料の見直しによる財源の確保③町税等の徴収率のアップ

④歳出でのマイナスイメージ⑤新たな補助金の確保⑥普通財産の利活用、売却などで対応していく。

### ふるさと納税

■ **議員** ふるさと納税制度が発足したときから危惧しているが、目的は何か。

■ **町長** 自分を育んでくれたふるさとに貢献する制度である。

■ **議員** 出身地の捉え方はどうか。

■ **町長** 特に縛りはない。

■ **議員** 今後の予想はどうか。

■ **町長** 予想は難しい。



「長与特産品」ふるさと納税に貢献大！



やまぐちけんいちろう  
山口憲一郎 議員

# 進めよう 町民参加のまちづくり



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 町民と一体となって進めていく

■ 議員 「町民参加の町づくり」の柱となる自治会加入率の減少が続いているが、町の現在の加入率の状況はどうなっているか。

■ 町長 29年は69・5%となっている。ここ数年を見るに25年の74・2%から年々減少しており、懸念しているところである。

■ 議員 25年から5年間で5%も少なくなっているが、自治会加入者の減少は、「町民参加のまちづくり」に大きな影響を与える。加入率の向上に向けて、どのような対策を立てているか。

■ 町長 自治会加入促進については、「長与町自治会加入促進研究会」により宣伝活動を進めている。

また、新しい集合住宅の建設の際は、開発業者に協力を呼びかけている。さらに、転入時には窓口で自治会加入の案内を行っている。

■ 議員 自治会加入者の減少は全国的な傾向であり、今後益々減少していくのではない

いかと思うが、加入促進に向けた推進チームなど必要はないか。

■ 町長 自治会の活動を知らせてもらうために、若手世代に焦点をあてて、SNSや町のホームページを活用して、自治会の魅力を広く発信していく。

### 地域コミュニティ

■ 議員 地域の町づくりの一翼を担うコミュニティの活動は、スタートして15年が経過したが、その役割は果たされているか。

■ 町長 それぞれのコミュニティで、住民の融合と地域の活性化が図られてきた。現在もより良い地域を創っていくことを目標に、コミュニティ祭りや地域のパトロール、あいさつ運動、子どもの見守りなどに取り組んでいる。

■ 議員 いまだに「町のコミュニティって何ですか」と問われる。住民への認知度が低いのではないか。

■ 町長 それぞれの活動方針の中で、「地域住民の総意に基づき連携協調して、人々の融和と快適な生活を実現する」としており、地域が抱える課題に対して、地域の皆さんで取り組んでいただいていると認識している。

### 情報の共有化

■ 議員 「町民参加の町づくり」に必要な情報はどのように提供し、共有化されているか。

■ 町長 町づくりへの参加を促す為に、多くの情報を



自治会加入率の減少に歯止めを

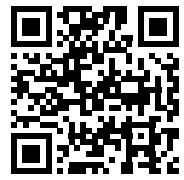
確に分かり易く伝える手段として、広報紙やホームページなどの多様な情報媒体を活用した情報発信に努めている。





かねこ 恵 議員

# めどは立ったか 高田南一括施工



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

## 回答 すべてが整ったわけではない

■議員 高田南土地区画整理事業について、今後、50から60億円がかかると思われる。実際、完成までの事業費および期間をどのように見込んでいるか。

■都市計画課長 現在、協議中である。整い次第、報告する。

■議員 一括施工、PFIのめどが立ったということか。

■建設産業部長 すべてのめどが整ったわけではない。

### 緊縮財政

■議員 一括施工、PFIを活用するにしてもかなりの金額が掛かり、緊縮財政になりかねない。今後の住民サービスに支障はないのか。

■都市計画課長 保留地の処分など歳入と歳出のバランスを取りながらやっていく。

■議員 当初、111億円と見込んでいた事業費が281億円。170億円の税金を投入せざるを得なかったことに関して、どう考えている

のか。

■課長 国費、県費、一般財源などすべて税金を使っている。重く受け止めている。早く住んでもらえるよう、早期完成を目指す。



早期完成により、新たなまちづくりを！

### 図書館建設のめど

■議員 この事業にめどがついたのち、図書館建設に取り掛かる旨の発言をしている。PFI活用めども付きつつあり、今後、順調に進捗するものと思われる。このめどが図書館建設を進める「その時」になるのか。

■町長 まちづくりは30年40年かかる。この事業も時間

がかかっている。図書館を建てるための土地はもう買っており、いつでも建てられる。もう少し待ってほしい。

問 地域活動を人事評価の対象に

答 評価のための数値化を研究する

■議員 机上のみでは実情がつかめない。現場でこそ見えるものがある。共に汗をかき、悩みながらも解決していくことが、協働、仕事にも反映されると考える。職員を応援する仕組みをどう考えるのか。

■町長 現場力が根本にあると思う。若い職員の意識も変わってきており、自主的に活動してくれている。

### \*地域担当職員制度

■議員 さまざまな観点から地域担当職員制度を取り入れている自治体がある。担当を決めることでぎめ細やかな対応ができることになると思う。このような仕組みづくり

をどう考えるか。

■総務部長 研究、協議していく。

■議員 地域活動を行う職員に対し、町内外にこだわらず人事評価の対象とするなど、士気を高めることが先決と思うがどうか。

■総務部長 評価には数値化したものがある。それができれば、地域活動を評価に入れることができるよう研究したい。

### \*地域担当職員制度

住民と行政が情報を共有し、相互の理解と連携を深める取り組みとして、職員が各コミュニティの担当となり、問題の解決に住民とともに取り組む制度。



わけべ かつひろ 和弘 議員

# 社会保障関連経費の大幅な伸びは

## 回答 扶助費が13億から29億に増加



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■ 議員 社会保障関連経費の大幅な伸びについて、今後の財政運営に大きく影響する事項はどのようなものがあるのか。

■ 町長 社会保障関連経費については、国の制度の拡充に伴い町が負担する額が増加している。財源を含めた対応策については、検討を重ねている。決算額で18年度と28年度を比較すると、「扶助費」が13億円から29億円に増加している。また、社会福祉費のうち「児童福祉」「障害者福祉」経費が大きな伸びを示している。

■ 議員 子どもの貧困については県内では大村市、県外では武雄市などで生活実態調査の結果が出ている。興味深い結果だと思うが、本町での生活実態調査の考え方についてはどうか。

■ 町長 施策の方向性を決定し有効性を検証するために調査は一定必要であると捉えている。厚労省が示す具体的な調査事例や実施済自治体を

参照し、本町の実情を加味しながら検討している。26年に子どもの貧困対策大綱が閣議決定されたが、いまだに貧困対策に関する有効で即効性のある施策は打ち出されていない。生活実態調査の実施は大切だと思うが、今困っている子ども達に、今できる支援をいち早く実行していくことが重要と捉えている。

■ 議員 某雑誌に、長与町の良いところについて、子育て支援が充実しているとの多くの住民の声が掲載されていたが、町長はどのように感じるか。

■ 町長 子育て、教育、介護の町を目標にするところである。いろいろと町づくりを行っているが、節約し支出を抑えて、子育て、教育、介護に充てられるような町づくりを行っている。こういった町づくりを皆さんに公表し認知されるよう精度を高めていきたい。

■ 議員 高田南土地画整理事業については、これまで多くの一般質問が行われてきた。今回、PFI事業を展開するにあたり、今後の課題となる項目と現在までの進捗状況について伺う。

■ 町長 課題としては、国庫補助金の確保と町の財政との調整が主となるが、今後とも国および県に要望などを積極



どう対応する 社会保障費用の増大に向けて (出典 厚生労働省の資料より)

**問** 高田南 現在までの進捗状況は

**答** 一括施工を踏まえ国と協議中

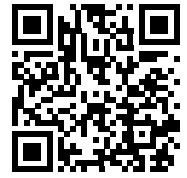


早期完成に向け動きだした「PFI事業」

的に進んでいきたい。進捗状況は一括施工を踏まえた実施計画の変更を国と協議を進めている。協議が整いし地権者への説明会を開催し、その後、入札に向けた事務手続きに進みたい。



# 生活環境の安全性を問う



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

## 回答 雨天時の対応を強化する

■ 議員 新潟県で児童が行方不明となり、他殺体で発見された。このような事件が起きたことは、「住宅の町長与町」の住民にとってもショックであり、不審者への対応について関心が高まっているものと思われる。不審者による声かけや、類似した事案の発生状況はどうか。

■ 町長 時津警察署管内で31件、長与町内で11件発生（28年度）しているが、事件の報告はあっていない。

■ 議員 どのような対応がなされているのか。

■ 町長 県警では、声掛け事案等情報（通称：キャッチくん）により、広域に及ぶ可能性がある場合は、全エリアにメールによる配信を行い、注意喚起を行っている。また、児童生徒の登下校における見守り活動の推進を図っている。

■ 議員 滋賀県で、増水した側溝に児童が流され死亡する事故が起きた。本町では毎年地域ごとに危険箇所調査が

実施されているが、増水時の側溝や河川などの状況把握が必要ではないか。

■ 町長 特段の状況に考慮した現状把握は行っていないが、町通学路安全プログラムなどで調査確認を行っている。雨天時のパトロールを強化し、対処していきたい。

**問** 住環境の動植物問題  
対応を

**答** 周知 啓発に努める

■ 議員 野良猫の増加にともない猫の糞害に困っているとの話が出ている。また、犬、猫の殺処分を減らすため、譲渡会や地域猫活動との連携は機能しているか。

■ 町長 猫対策・マナーについて広報紙、町ホームページに掲載し協力をお願いしている。殺処分を減らすための連携としては、野良猫の繁殖を抑制し、生活環境の保全、住民生活の安全を保持するため、不妊・去勢支援事業の申請を受け、長崎県獣医師会と

の連携を行っている。

■ 議員 5月以降、オオキケンケイグクの繁茂が見られる。繁殖力が強く、在来植物の生態や環境を一変させることから駆除が必要とされている。しかし、キバナコスモスに似ていることや、環境への悪影響が周知されていないため、住民による駆除があまりなされていないように思われるがどうか。

■ 町長 特定外来生物として17年に指定されたものである。駆除を進めていくために



特定外来生物に指定され駆除対象のオオキンケイグク

は、生態系への影響と駆除の必要性について、町民へ浸透を図ることが重要と認識しており、ホームページ、広報などにより周知、啓発に努めていきたい。

■ 議員 今後、一斉清掃前に広報紙で知らせてはどうか。

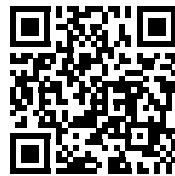
■ 住民環境課長 そのように対応したい。



あいば ありこ 敦子 議員

# 広報ながよ 全戸配布を

## 回答 研究していく



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■ 議員 自然災害が頻繁に発生する状況を踏まえ、適切な避難行動をとるためには、災害に関する情報が迅速かつ的確に届くことが重要である。一般的に情報が届きにくい外国人や高齢者に、災害時に必要な情報が確実に届けられるようにする「情報難民ゼロプロジェクト」について、総務省が2020年に向けたアクションプランを含む報告書を公表している。本町でも必要と考える。必要の人に必要な情報が伝わる事が重要であり、情報難民、情報弱者への町の支援が不可欠と考える。実態の把握はできているか。

■ 町長 把握はできていない。

■ 議員 なぜ、把握できていないのか。災害などの時に1番困ると思う。今後どう対応するのか。

■ 福祉課長 3月に避難行動要支援者等の名簿を作成した。今後は1人ひとりの計画をたてて状況がわかると、情

報難民、情報弱者の人をある程度把握できると思う。

### 配布方法 再考を

■ 議員 自治会加入率が、5年間で5%ほど下がっている。「広報ながよ」の全戸配布を考える時期ではないか。

■ 秘書広報課長 全戸配布は近隣市町の大多数が考えていない。再考する考えはない。

■ 議員 周知方法は、広報紙とホームページといつも言われており、町民の30%に広報紙が届いてないということは大きな問題ではないか。

■ 課長 検討していく。

■ 議員 全戸配布すること、自治会を知って、加入率に繋がり、支え合う共助にならると思うがどうか。

■ 課長 今後研究していく。

問 書かない窓口を取り入れては

答 システムの統一化が必要

■ 議員 窓口サービスのひとつとして、住民が住所、氏名、

生年月日、性別を口頭で言って職員が端末で調べ、住所変更とともに、必要な手続は一緒に行えるという「書かない窓口」を取り入れてはどうか。

■ 総務課長 システムの統一化が必要であり、簡単にはいかない。

### すぐやる課 提案

■ 議員 広報ながよ5月号に掲載された「すぐやる課」の提案は、どれだけの議論を行ってどういうチームで話し合ったのか。

■ 課長 総務課で協議を行ったが、関係所管との協議を行っておらず丁寧さに欠けていた。

■ 町長 議論をする場が内容によっては必要と今感じました。

■ 議員 土曜日開庁のサービスをどう評価しているか。また働き方改革の面から考えてどうか。

■ 住民福祉部長 29年度の来庁者563件、対応した職員は157人、処万件数

786件。これを多い、少ないと判断することはできない。

■ 総務課長 働き方改革、実際の件数等で廃止、縮小、ニーズを考えて研究していく。



すぐやる課 新設を！



# 都市計画の見直しできないか



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

## 回答 都市計画基礎調査を基に研究する

■ 議員 都市計画の一部見直しができないか。第1種低層住居専用地域における容積率を80%から100%まで緩和することで同居住宅建設の促進につながると思うがどうか。

■ 町長 都市計画基礎調査及び国勢調査等などの結果を踏まえ研究する。

■ 議員 高田保育所上部の、今後処分するとされている用地については準工業地域となつているが、周辺は戸建ての住居が建っている。このままでは工場や風俗営業の施設などの立地も可能となる。処分する前に、隣接する住居系の用途に変更することが必要と考えるどうか。

■ 都市計画課長 変更することと考えていく。

■ 議員 道ノ尾公園跡地付近に造成される保留地約2万㎡については、今後町がどのような町づくりを目指して、街区割りをするかなど重要になると思うが、計画は立っているのか。

■ 課長 2万㎡一区画で造成したいと考えている。

■ 議員 どういうものか。

■ 課長 現行の第1種住居地域で対応できる3千㎡未満の商業系店舗などを考えている。

■ 議員 店舗などの誘致を町が望んでいるのであれば、1万㎡未満の範囲で建設ができる第2種住居地域や近隣商業地域などに変更すべきと考えるがどうか。

■ 建設産業部長 3千㎡を超えるような建物を造るとなると道路を含む周辺の基盤整備が必要となるので、変更は



造成後の土地利用が注目される道ノ尾公園跡地付近

難しいと考える。

■ 議員 2万㎡の用地の中に3千㎡の店舗が一軒建つということが町のまちづくりとして適当であるのか。

■ 部長 保留地の購入者と具体的なことを協議しながら他市町の事例も見て慎重に検討する。

■ 議員 経費の削減、管理業務の軽減を求めて、宿根草を含む多年草での植栽も検討すべきといたがどうか。

■ 町長 今年度は道路に設置しているプランターに秋頃宿根草での植栽をする。

問 男女共同参画計画の取組はどうか

答 28の具体的な施策で取り組む

■ 議員 男女共同参画計画で示している計画の取組はどうか。



長与町男女共同参画計画（第1次から第3次）

■ 町長 4つの重点目標のもとに11の推進施策、さらに28の具体的な施策を掲げて、あらゆる分野で女性の活躍の推進に向け、連携して取り組む。

■ 議員 さまざまな施策が示されているが新たな予算措置は必要なのか。

■ 企画政策課長 多くは継続する施策で、当初予算で対応しているが、新たなものについては、必要な時期に願います。



にしおか かつゆき  
西岡 克之 議員

# 公園遊具の管理方法はどうか

**回答** 計画的に管理運営している



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



早く遊びたいな

■ 議員 本町の公園から遊具が撤去されている。地元報道機関でもかなりの規模で報道されている、改めてここで説明せよ。

■ 町長 28年度に町内全ての公園遊具の点検を行った。この結果をふまえて、29年度は33カ所修理し、5カ所撤去し、使用を中止したのは32カ所で、70カ所処置をした。今年度は前年度使用中止した32カ所の修繕・撤去を行うが、新たな使用中止箇所も発生し

ている。

■ 議員 公園遊具の撤去の目安、根拠はどうしているか。先日も地元の公園にある滑り台が遊具周辺をバリケードされて使用できない状態になっていた、子どもたちはショックと思う。遊具は子どもの成長に役立つばかりでなく、冒険や挑戦ができるように配慮すべきではないか。

■ 土木管理課長 遊具の撤去は主として目視、触診によるものがほとんどだが、設置

後の台帳による点検もしている。

■ 議員 新しく設置する時には遊具の使用対象年齢なども見える所に表示するのも必要ではないか。

■ 課長 参考にした。今後、国の補助金を活用して公園施設の長寿命化の策定をしたい。補助金は計画策定と工事がセットになっているので計画的に行っていく。

**問** 施設の使用料  
手数料の廃止を

**答** 町民は年齢などで  
減免を行う

■ 議員 町が所管する施設の使用料、手数料を徴収するようになつて1年以上が過ぎた。私のところには、いまだに不満の声が聞こえてくる。今後条例を廃止する考えはないか。

■ 教育長 現在規則により定められた減免規定により町内利用者には減免措置を行っている。減免の要望は体育協会より75歳以上の団体

についてさらなる減免要望があった。65歳以上の団体には既に減免を行っているのので、さらなる減免は行わない。

■ 議員 議員に近隣自治体は無料のところはない、と説明があったが、時津町、長崎市は団体登録すると年齢関係なく使用料無料である。(一定の条件あり) 改める考えはないか再度伺う。

■ 生涯学習課長 町民の皆様には一定の理解は頂いていると考える。今後さらなる要望があればその都度対応する。

■ 議員 徴収した使用料はいくらか。その使用方法はどうか。

■ 課長 約540万円であり、管理運営費や町民体育館のバスケットゴール更新に使用する。



# 高田南区画整理事業 早期完成を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

## 回答 一括施工を検討中

■ 議員 当事業については昭和59年事業決定され、35年が経過し既に約240億円が投資されている。しかも進捗率は57%。長期化により地権者の苦悩は限界を超えている。また、町財政にも大きな負担が強いとされている。早期完成の考え方を示せ。

■ 町長 残工事の一括発注と保留地処分の一部を、一体の契約として発注する一括施工を検討する。

■ 議員 今後の事業工程を示せ。

■ 町長 現在国および県と協議を進めている。協議が整い次第、地権者などへの説明会を開催し、入札に向けた事務手続きに入りたいが発注方法の如何によっては施工期間が異なるため、明確な工程が示せない。

■ 議員 PFI導入の話も出ているが実態はどうか。

■ 町長 残工事の一括発注を行う場合、その施工期間中に国庫補助金の配分を確実に受ける必要がある、今後も引

き続き要望活動を続ける。

■ 議員 PFI導入で清算事務、換地、仮換地、移転費用、事務費の変更および処理が出てくるが対応できるのか。

■ 町長 PFI手法でも発注する業務は残工事の施工、一部の保留地のみである。事業主体は民間に移行するのではなく、これまでどおり収束実務を行う。換地、仮換地については造成変更が見込まれている。地権者の不利益にならないように十分配慮する。

■ 議員 残事業のみで業者委託は可能か。

■ 町長 残事業の一括発注施工と保留地の一部であり、施工範囲の調整を行い、これまでどおり町および県が事業施行者として実務を担う。

■ 議員 財源に問題はないか。

■ 町長 複数年の限られた工事期間の中で多額の工事費を捻出する必要がある、その財源の確保が発注の可否を決める事になる。国庫補助金の

配分、保留地処分金の前倒しなど、慎重に判断し、早期に進める。

問 給食米の契約に圧力は

答 圧力は無かった

■ 議員 昨年の学校給食問題を総括する。昨年の給食米の件については今なお違和感を持っている。当該議員関連会社と教育委員会の契約にも関わらず、西彼農協からの情報提供に基づく同僚議員の抵触ありきの書面で特別委員会

が設置された。なぜ農協情報なのか不可思議である。そこで行政側に再度確認をする。圧力はあったのか。

■ 教育長 住民各位にお詫びする。改善策を講じ、信頼回復に邁進する。自己判断で決裁した。圧力は感じてない。

■ 副町長 圧力はなかった。

■ 議員 今年度の業者はどこか。

■ 教育長 西彼農協である。

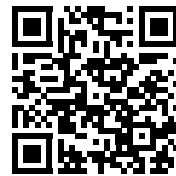


給食米問題



かわの 河野 たつじ 龍一 議員

# 施設有料化 登録団体は無料に



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

## 回答 一定の理解得ている 考えてない

■ 議員 施設の町民有料化の目的であった「自主財源の確保」は目標額に達成したか。  
■ 教育長 目標額を設定した訳ではない。維持管理費や施設充実のための財源確保が目的である。

### 他市町では無料も

■ 議員 長崎市や時津町では、登録団体の使用料はすべて無料となっている。(一定の条件あり) 長与町も登録団体は無料にできないか。

■ 生涯学習課長 本町では、老人会やスポーツ団体の登録団体は、利用によって一部免除の対応をしている。

■ 議員 近隣の自治体の対応と比べて矛盾を感じないか。

■ 課長 長与町は独自の判断で行っている。

### 問 JRへの増便要請を

■ 答 引き続き要望を  
行っていく

■ 議員 JRが減便され、

不便との声がある。増便や車両増の要望ができないか。

■ 町長 本町はJR利用者が増加傾向にあり、突然の減便に容認できないと申し伝えたい。引き続き増便、増両を要望していく。

■ 議員 長与駅では、車いすの利用者対応の時間が制限されている。時間の延長ができないか。

■ 町長 駅員の勤務時間もあり、現状では難しい。

### 危険箇所には信号を

■ 議員 東高田町営住宅入り口の信号機は移設でなく、新設で設置ができないか。

■ 町長 信号機は原則150m以上間隔がなければ設置が困難。指摘の場所は、時津署から移設は可能と見解を受けているので、地域からの移設要望を待ちたい。

■ 議員 バス停もあり、移設ではバス利用者は不便になる。新設が有効と思う。県内でも150m離れてない場所に信号機が設置されている場

所もある。新設を強く要望してはどうか。

■ 総務部理事 要望は行ってみよう。

■ 議員 道の尾蓬菜橋交差点の信号機は右折が困難。時差式信号機への変更ができないか。

■ 町長 状況を調査し、要望していく。

■ 議員 三彩地区の舟津橋までの長与中央線のいずれかの交差点に信号機が設置できないか。

■ 町長 地元からの設置要望もあるが、緊急性の順位からいまだ設置に至っていない。

い。今後も要望していく。

### 道路改修を急いで

■ 議員 多くの町道の改修が望まれている。年次計画どおりに進められているのか。

■ 町長 国の補助金が満額交付となっていない。当初の計画どおりには進んでいない。

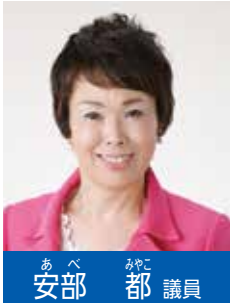
■ 議員 679路線の改修が必要と以前聞いたが、どの程度改修されたか。

■ 土木管理課長 2路線は改修を行った。



急いで 道路改修





# 政治分野への女性参画の見解は

## 回答 国の動向を注視しながら検討



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■議員 政治分野における女性議員を増やすための見解と対策はどうか。

■町長 今年、5月23日に、男女が共同して参画する民主

政治の発展に寄与することを目的とした「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行された。選挙における男女の候補者の数ができる限り均等になるよう目指すこと。国および地方公共団体の責務、政党や政治団体の努力義務が規定されている。国の動向を注視しながら検討をしていく。

■議員 女性の社会進出や活躍社会の町の考え方はどうか。

■町長 女性の活躍が進むことは、男女の働き方、暮らし方、意識を変革し、男性中心型労働慣行等を見直すことで、男女が互いに責任を分かち合い、共に暮らしやすい社会の実現に繋がる。

■議員 町の女性参画の取組状況はどうか。

■町長 29年度では、女性

の登用率は、委員会が24.1%、審議会が32.5%、課長職以上の管理職が12.5%、議会における女性議員が25%と県内でも高い割合である。



女性の政治分野、社会参画がどんどん進むといいなあ～

■議員 「こころの健康相談窓口」を設置して、見える化を図ってはどうか。

■町長 健康保険課が相談窓口となり、業務を行なっている。ケースによっては、西彼保健所の保健師などと連携を図りながら相談者や家族の支援を行なっている。相談しやすい環境づくりを目指していく。

問 ※避難所トリアージの考え方は

答 優先順序を専門的知識者が判断

■議員 「防災・避難所トリアージ」の考え方はどうか。

■町長 大規模災害発生により避難所の収容人数を大きく超えた避難者が避難してきた際、どんな避難者を優先的に受け入れるか救命処置の優先順序について、専門的知識者が判断すると考える。町内に避難所は、27カ所指定しており、最大収容人数は、町民の3割程度で、全体で1万3329人収容可能となっている。

■議員 「避難行動要支援者」のマップと名簿を、避難支援者の手元に配布する予定はいつか。

■総務部理事 7月頃に住民へ説明会をし、コミュニティ単位でモデル地区を選定する。問題点など出し、完成したら配布する。

■議員 要支援者の同意書

が得られた人数はどのくらいか。

■理事 要支援者数1251人に対し729人の同意が得られた。

■議員 防災訓練が実施された際の、車いすに取り付ける輸送補助機器を購入する予定はないか。  
■理事 とても活用できる。今後検討したい。



日頃からの防災訓練が大事だね！

\*避難所トリアージ  
傷病者の重症度と緊急性、障がいなどにより、避難所における優先順位を選択し、より良い避難所生活を送れるようにすること。

## 議員と語ろう会を開催しました

5月23日に北部地区多目的研修集会施設、24日に南交流センターにおいて、議員と語ろう会（議会報告会）を開催しました。23名の方々にご参加いただき、議会からの報告に対する質疑や議会への要望など、さまざまなお意見等をいただきました。当日は、予算の報告や、議会の活動報告を行った後、グループに分かれて町民の皆様との意見交換会を行いました。これからも、議会を身近に感じていただけるよう、議員一丸となって頑張ります。



北部地区多目的研修集会施設



南交流センター

### 主な質問

Q1

30年度予算約122億円は前年度と比較してどうなっているのか。また大きな支出はどのようなものがあるか。

A

29年度に対して、0.4%の増となっている。30年度予算の中で、議会費は1.1%。大きい費用は民生費で予算全体の約40%の49億7700万円。そのうち扶助費が30億2700万円。その他教育費予算が11億5300万円。借金返済に14億7000万円となっている。

Q2

高田南区画整理事業の新聞記事の感想を聞きたい。PFIで本当にできるのか、めどはどうかのこののを聞きたい。関連して新図書館の建設に影響する。高田南のめどが立たないと新図書館建設に向かわないのか。他の方法はないのか。

A

議員もこのことは非常に重く考えている。PFIはまだ県で検討している最中だ。高田南の区画整理地内の道ノ尾公園部分などをPFIで行えないか、県と町とで検討しているところだ。図書館については、町長の考え次第であるが、財政的に高田南のめどがつかないと建設は難しいと思う。

各会場では、参加された町民の方が3、4名ずつのグループに分かれ、それぞれに議員2名が加わり、主なテーマを『今後の長与町のまちづくりについて』として、長与町のいい所、改善したい所など自由な意見交換を行いました。頂いた意見の中から一部を紹介します。

### 参加者の声（抜粋）

- 西高田踏切付近の渋滞がひどく、幸福度日本一が見えてこない。
- 乗合タクシーを広げてほしい。
- 自然が美しく果物が豊富。JRがあって交通が便利。
- 家族でゆっくりできる場所がほしい。
- 議員ともっと話したり、交流する場がほしい。
- 町の事業は重複がないように整理してほしい。



各グループで出された意見を全体で共有しました

詳細な報告書は後日議会ホームページに掲載します。

## 参加者へのアンケート結果

議会報告会参加のきっかけは何ですか。(複数回答あり)

①自治会回覧	②チラシ・ポスター	③フェイスブック	④議員から	⑤その他	小計
11	2	1	7	2	23

今回の議会報告会をどのように感じられましたか。

①わかりやすかった	②わかりにくかった	③どちらとれない	④無回答	小計
12	3	6	0	21

### 自由意見 (一部抜粋)

- 議員との話し合いの時間を 1.5 時間～ 2 時間をお願いします。
- 報告会はずっと続けて欲しい。語ろう会として時間が短い。
- 説明は行政がするような内容であった。もっと長与の将来を議員がどう考えているか、行政の予算施策への評価の意見を聞かずべし。
- 報告よりも、「住民の声を聞く会」に徹したほうが、みなさんいいのでは？

産業厚生常任委員会 調査報告

## ※ 6次産業化・下水の高度処理など調査

委員長 西岡 克之

### ○調査期日

・ 5月15日から17日

### ○調査目的・調査内容

千葉県船橋市 (西浦下水処理場)

船橋市が下水処理に高度処理を導入するに至るまでの経緯と処理方法に伴う現状処理設備の新たな利用状況、管理方法。

千葉県佐倉市 (佐倉きのこ園)

6次産業化に至るまでの初期費用、生産、加工、販売が軌道に乗るまでの経過と現状の営業形態。

広島県江田島市役所・江田島オリブ園・江田島オリブファクトリー

6次産業化の取組と現状について、行政関与の経過、成果の検証について。

### ○研修を終えて

船橋市が高度処理導入に至った経緯は法律による排出規制によるもので、いかに設備投資を少なくするか、ランニングコストを抑えるかという点で参考になった。

佐倉きのこ園は、初期費用に補助金なしで農業関連資金で賄い、6次産業化を成功させるに至る苦労話に感慨深いものがあった。

江田島市は行政合併により新産業創出をオリブで図ろうと行政と民間で共に努力し、民間の力を大きく関与させ、行政も後押しして成功させようとしていた。

### \*6次産業

農林漁業者が農畜産物・水産物の生産だけでなく、食品加工、流通・販売にも取り組むこと。

正規の調査報告書は全委員が提出しています。議会事務局または議会ホームページで閲覧できます。

## 議会改革ランキング 全国52位

早稲田大学マニフェスト研究所が議会改革度調査2017ランキングを公表しました。

これは、議会の現状について「情報共有」「住民参加」「機能強化」の観点から議会改革の度合いを数値化し、順位付けするものです。

都道府県議会を含む全国1781議会のうち、1318議会がアンケートに回答し、本町議会は全国で52位となりました。

町民に信頼される議会を目指して、引き続き議会改革を進めてまいります。



# 傍聴席から

皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。  
たくさんのご意見ありがとうございました。

6月議会の傍聴者は  
延べ **42人** でした

傍聴は初めて出席させていただいて、傍聴者の方が少なく、町がより善くなる為には、関心をもつ事の大切さを改めて感じました。

- ・ 議会で細かく質問されていて、よく理解できた。
- ・ 議会での様に各種の問題点を把握し実行しているが大変理解できた。
- ・ 多くの方に聞いていただくように、広報などで広めて頂きたい。(60代 夫婦)

初めて議会傍聴させて頂きました。傍聴席が48席あるにもかかわらず、9名の傍聴人では少ないのでは?と思う。町民が町政に参画を望むところです。

議会は緊張感のあるもので大変良かったと思う。(50代 男性)

4月の議会だよりにより、QRコードで質問の録画が見られるようになっています。

今後、町議会のライブ映像を送信する計画はありますか。(70代 男性)

(編集注:平成25年3月より、ライブ配信も行っています。)

今回初めての傍聴をさせて頂いたのですが、現場の役場職員の皆さんが、長与町の為に一生懸命努力されている事を見せて頂きました。広報ながよにも記入されていたのですが、土曜日役場が開いていること等、目を通していなかったことを思いました。それぞれの受付では、待たせる事もなく、すみやかに、笑顔で接してくださる事を望みます。

長与町は、今、ベッドタウンになっているので、皆さんが長与の商業施設で、町内での色々な買い物ができるのいいと思いました。(60代 女性)



次の定例会は **9月4日(火)** 開会の予定です。傍聴をお待ちしています。

## 議長交際費

30年4月1日から6月30日までの  
総額と件数

寸志・慶祝など	75,000円 (15件)
弔慰	14,580円 (1件)
(生花スタンド・香典など)	
視察お土産代	8,197円 (1件)
支出合計	97,777円 (17件)

議会情報を発信中! コメントをお待ちしております。

いいね! をよろしく  
お願いします。

現在 **434名**  
(6月末)

QRコード

facebook

https://www.facebook.com/nagayochogikai

## 編集後記

役場前に「長与町庁舎」と彫った石銘板があります。ここにある「庁」の旧字体「廳」の成り立ちを調べると「まっすぐな心でよく聴く建物」の意味から、転じて役所を意味するようになったとか。

町議会が実施した町民意識調査によると、意見を町政に反映させたい時はどうしますかとの間に、役場に：23%、議員に：11%との結果でした。

議会広報特別委員会は、議会広報広聴常任委員会へと変え、議会報告会を開き、質疑応答も実施しています。

ぜひ足をお運びいただき、まちづくりの課題提起、提案などお聴かせください、お待ちしております。(堤 理志)

## 議会広報広聴 常任委員会

委員長	饗庭 敦子
副委員長	堤 理志
委員	浦川 圭一
	中村 美穂
	安藤 克彦
	分部 和弘
	吉岡 清彦
	竹中 悟



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。